



JIRCAS 国際シンポジウム 2014

土壌環境と作物生産－開発途上地域の作物安定生産のために－ プログラム

(09:00-9:30) 受付

(09:30) 開会

(09:30-9:40) 主催者あいさつ 岩永 勝 (JIRCAS 理事長)

(09:40-9:45) 来賓あいさつ 雨宮 宏司 (農林水産省 農林水産技術会議事務局長)

基調講演 (09:45-10:55)

座長: 小山 修 (JIRCAS)

(09:45-09:50) 講演者紹介

(09:50-10:20) 土壌の健康度の改善による小規模農業の持続的集約化

William D. Dar, 国際半乾燥熱帯作物研究所 (ICRISAT) 所長

(10:20-10:25) 講演者紹介

(10:25-10:55) 土壌劣化への挑戦 -人間の安全保障をめざして-

小崎 隆, 首都大学東京 都市環境学部 教授 (一般社団法人日本土壌肥料学会 会長)

(10:55-11:15) 小休憩(記念撮影)

セッション 1: 低肥沃土壌における作物生産性向上 (11:15-12:40 及び 13:50-14:55)

座長: 飛田 哲、松本成夫 (JIRCAS)

(11:15-11:20) セッション紹介

(11:20-11:40) サブサハラアフリカにおける土壌肥沃度と作物生産

Andre Bationo, 総合農村開発アクション、President)

(11:40-12:00) 東アジアでの窒素利用と利用効率～アフリカへの適用の第一歩として

三島慎一郎、(独)農業環境技術研究所 物質循環研究領域 主任研究員

(12:00-12:20) N2-アフリカ:生物的窒素固定(BNF)技術をアフリカの小規模農家へ、肥沃度の向上と豆類の増産

Nancy Karanja、ナイロビ大学農学部 教授

(12:20-12:40) 生物的硝化抑制(BNI):硝化作用と亜酸化窒素ガスの発散を抑える植物のポテンシャル

Guntur V. Subbarao、JIRCAS 生産環境・畜産領域 主任研究員

(12:40-13:50) 昼休憩

(13:50-14:10) リン酸肥料無施用条件下における冬作物の導入が後作ダイズのアーバスキュラー菌根菌の感染と子実収量に及ぼす影響

磯部勝孝、日本大学 生物資源科学部 植物資源科学科 准教授

(14:10-14:30) サブサハラアフリカにおける地域産リン鉱石の農業利用

飛田 哲、JIRCAS 生産環境・畜産領域 領域長

(14:30-14:50) *Pup1* 遺伝子とその将来展望:リンの利用効率を高めるアイデア、形質、そして遺伝子

Matthias Wissuwa、JIRCAS 生産環境・畜産領域 主任研究員

(14:50-14:55) セッション 1 のまとめ

(14:55-15:15) 休憩

セッション 2: 土壌塩害問題の緩和 (15:15-16:25)

座長: 末永一博、庄野真理子(JIRCAS)

(15:15-15:20) セッション紹介

(15:20-15:40) インドにおける塩害の現状とその克服

Dinesh K. Sharma、インド中央塩類土壌研究所 (CSSRI) 所長

(15:40-16:00) 中国・黄土高原におけるチェックダム農地の塩類集積とそのメカニズム

清水 克之、鳥取大学農学部 講師

(16:00-16:20) ダイズ耐塩性の遺伝的改良

許 東河、JIRCAS 生物資源・利用領域 主任研究員

(16:20-16:25) セッション 2 のまとめ

(16:25-16:55) 総合討論

座長: 加納 健(JIRCAS)

(16:55-17:00) 閉会あいさつ **安中正実** (JIRCAS 理事)